

ストライキ体制をうちかため 強権的労務支配を打ち破ろう



1988.8.11 No.2871

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

各支部・営業協議会・清算事業団・ 争議団の組織強化をかちとろう

第三二回執行委員会開催（8/4）

動労千葉は、八月四日、第三二回執行委員会を開催し、津田沼支部をはじめとした「アゴヒモ、カーテン」を理由とした乗務停止や「アゴヒモ、カーテンのチェック」を乗務員同士に強制させようとするなどの強権的労務支配、これらの攻撃を打ち破るべくストライキ体制を強化するとともに、「九・一一国鉄労働者集会」、十月二、三日の動労千葉定期大会を中心とした今秋期闘争の勝利をもつて反撃していく方針を決定した。

河野ら不良職制による 強権的労務支配を断じて許すな！

日刊二八六七号で既報のとおり、津田沼を中心とした乗務停止などをはじめとした強権的労務支配の攻撃はいまだに続いている。この攻撃の本質は、結局、当局と松崎連合による動労千葉―国労解体攻撃の失敗による反動的まきかえしによるものである。

津田沼支部破壊の先頭にたつ久保、代古、石川らは、札つきの革マル分子・海宝、長谷川らとつるんで津田沼支部長をはじめ三名の仲間をいまだ乗務停止処分にし、さらにその仲間を「トイレと昼飯以外は外へ出るな」と講習室、訓練室に監禁状態にし、そしてまた、予備の乗務員をホームに立たせ、他の乗務員の「アゴヒモ、カーテンのチェック」をさせるなどの暗黒の職場支配を強制しているのである。

しかも、代古ら不良職制どもの日頃の態度たるや現場の乗務員がいさつをしても、返事もしないような横柄な態度をとる。これが果して「心をもつ人間のやることなのか。われわれは、こうした暗黒の職場支配を今後も続けるようなら断固たる態度で反撃をたたきつけることを明らかにする。

組合員の力で

「九・一一国鉄労働者集会」
動労千葉定期大会の成功をかちとろう！

今日、労働運動情勢は「右翼労働統一」をめぐ

9・11 国鉄労働者集会を成功させよう

当面するとりくみ

- 8/19 青年部活動者会議
- 8/21 家族会連続講座
- 13日 本部会議室
- 8/27 動労千葉労働講座
- 10日 県職員会館
- 9/2 映画「檄」上映会
- 18日 市民会館

つて大流動化、大激動の時代に突入した。国鉄をめぐる情勢も、「一企業一組合」攻撃の破産をはじめとした分割・民営化の矛盾の拡大、統廃する事故、不屈にたたかいかいぬく清算事業団の仲間など、日帝・JR当局の体制を根幹からゆさぶる問題が山積みされている。敵にとってその解決の道は全く展望などない。結局、動労千葉―国労をつぶすことによつて矛盾をおおいつくすことになつてきとならざるを得ない状況なのだ。

いまこそ、JR体制下での初の運動でのスト体制を打ち固め、「九・一一国鉄労働者集会」、第十五回動労千葉定期大会の成功をかちとろう！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！